

第14回 トラック輸送における取引環境・労働時間改善千葉県協議会 議事概要

日時

令和6年1月25日（木） 13:00～15:00

場所

オークラ千葉ホテル 3階「ウィンザー」
(千葉市中央区中央港1-13-3)

出席者

吉野 毅 (代理 飯田様)	一般社団法人千葉県商工会議所連合会 専務理事
永井 肇 (代理 山下様)	JFEスチール株式会社東日本製鉄所 常務執行役員千葉地区副所長
臼井 理人	住友化学株式会社 千葉工場 生産管理部長
池田 和彦	一般社団法人千葉県トラック協会 会長
大里 忠弘	銚子通運株式会社 代表取締役 (一般社団法人千葉県トラック協会 副会長)
根岸 俊夫	根岸運輸株式会社 代表取締役会長 (一般社団法人千葉県トラック協会 副会長)
岡野 哲也	常南通運株式会社 代表取締役社長 (一般社団法人千葉県トラック協会 副会長)
水野 浩利	水野運輸株式会社 代表取締役 (一般社団法人千葉県トラック協会 副会長)
木村 琢	ケミカルトランスポート株式会社 代表取締役 (一般社団法人千葉県トラック協会 副会長)
野村 宗作 (代理 小高様)	千葉県商工労働部長
岩野 剛	千葉労働局長
勝山 潔 (代理 勝家自動車交通部次長)	関東運輸局長
柳瀬 光輝	関東運輸局千葉運輸支局長

開会の挨拶（事務局）

省略

（岩野局長）

千葉労働局の岩野でございます。委員の皆様方におかれましては、大変お忙しいところ本協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また、日頃より私ども行政の運営にご理解ご協力を賜っておりますことをこの場をお借りしまして御礼申し上げる次第でございます。

まずもって元日に発生いたしました能登半島地震において亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、被災地の皆様の安全と、一日も早い復興が進み平穏な日々が戻られますことを心よりお祈り申し上げる次第でございます。

今般の地震にあたりまして、トラック事業者の皆様におかれましては、行政からの協力要請等にいち早くご対応いただくなど、トラック輸送は通常時は元より有事の際にもわが国の物流の要であるということを再確認させていただいた次第でございます。

さて、いよいよ本年の4月からトラック運転者について、時間外労働の上限規制、そして改正改善基準告示が適用となります。これに向けまして、千葉労働局では労働基準監督署において、改正内容の説明会の開催などトラック事業者を対象とした周知はもちろんのこと、発着荷主企業等に対しトラック運転者における長時間の恒常的な荷待ち時間を発生させないということにつきまして、要請を積極的に行っているほか、昨年秋からは国土交通省との連携をさらに強化した取組みを始めたところでございます。

また、運輸業の深刻な人手不足への対応といたしましては、ハローワークの人材確保対策コーナーでのマッチング支援など求人充足に向けた各種支援を行うとともに、年収の壁を意識せず働くことのできる環境整備を行う企業への助成金による支援なども行っているところでございます。ご承知の通りトラック運転者は他の業種に比べまして、長時間労働の実態にありまして、脳・心臓疾患の労災支給の決定件数も最多というふうになっているところでございます。

長時間労働の是正など物流を取り巻く労働環境の改善にあたりましては、本年4月からのスタートラインに向け、トラック事業者だけでなく、荷主企業を始め、サプライチェーン全体で一丸となって取引環境の適正化を始めとする諸般の課題に継続的に取組むことが非常に重要となっております。

本協議会につきましては、荷主、トラック事業者、労働組合、行政といった幅広い関係者が一堂に会してご議論いただく貴重な場であり、その役割は大変重要なものと考えております。本日は委員の皆様のごようなお立場から、トラック輸送における取引環境の適正化、そして労働時間の改善に向け、是非とも忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

配付資料の確認（事務局）

省略

以降 千葉運輸支局 柳瀬支局長が進行

(柳瀬支局長)

ただいまご紹介いただきました千葉運輸支局長の柳瀬です。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中本協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。円滑な議事進行に努めてまいりますので、ご協力の方よろしくお願ひいたします。

まず、本日の議事の進め方についてご説明をいたします。先ほど事務局から話がありました通り、一年ぶりの開催となっておりますので、議題に入る前にトラック運送事業の現状について千葉運輸支局小林首席運輸企画専門官及び関東運輸局貨物課堀越課長よりご説明を行います。

その後議題(1)「千葉県のトラック運送業界の労働時間等改善実態調査について」としまして、2024年度から始まる労働時間の上限規制に関連して、事業者の皆様の現状及び優良な取り組みについて実態調査を行いましたので、調査をご担当いただきました株式会社運輸・物流研究室よりご報告いたします。

次に議題(2)「事務局の取組み」としまして、トラック事業の取引環境適性化及び労働時間改善に向けた千葉労働局、千葉県トラック協会、千葉運輸支局それぞれの取組みについてご報告いたします。

次に議題(3)「今後の協議会の進め方」としまして、来年度の協議会に向けた実施方針をご報告させていただきます。

最後に「その他報告事項」としまして、各種取組みなどについて、事務局よりご報告いたします。また、各議題ごと質疑応答の時間を設けておりますので、よろしくお願ひいたします。それでは、トラック業界の現状につきまして、千葉運輸支局小林首席運輸企画専門官および関東運輸局貨物課堀越課長よりご説明を行います。よろしくお願ひいたします。

(千葉運輸支局及び関東運輸局自動車交通部貨物課)

資料1「トラック業界の現状」について説明

(柳瀬支局長)

続きまして、議題の方に進めさせていただきたいと思ひます。議題(1)「千葉県のトラック運送業界の労働時間等改善実態調査」について、株式会社運輸・物流研究室代表取締役中田主任研究員及び千葉運輸支局小林首席よりご説明いたします。よろしくお願ひいたします。

(運輸・物流研究室及び千葉運輸支局)

議題(1)「千葉県のトラック運送業界の労働時間等改善実態調査」について資料2に沿って説明

(柳瀬支局長)

只今の報告につきまして、ご意見等があればご発言の方をよろしくお願ひいたします。

(大里委員)

只今、トラックGメンによる指導が入ったところについて、こういう改善があったという報告がございましたが、これは今まで改善等を申し入れた中のどのくらいの割合になるのでしょうか。

(千葉運輸支局)

情報については、全国的に統一して本省で出しているのですけれども、今のところそういった指標で公表しているものはございませんので、今日お示しできるものはございません。

(大里委員)

いろいろとご尽力いただいているのですが、結果が伴わないと、絵に描いた餅ということになってしまいますので、ぜひその辺のところ、今後もどうなったという結果も追いかけていっていただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

(千葉運輸支局)

承知しました。その対応も本省の方にしっかり伝えていきたいと思います。ありがとうございます。

(池田委員)

トラック協会の池田でございます。まず、中田さんの方でアンケート取っていただきましたが、175社でも比較的トラック協会の事業に積極的に参加していただいている方を選んでいただいて、なおかつ35%というのは非常に前向きな事業者であるのかなと思います。ですから、非常にこのアンケート調査の中身は、実態としてはこんなに甘くはないですよ、というのが僕の本音なのかなと思います。2000数社に全てアンケートを取っても回収率というのはそれほど高くないと思いますが、実態としてはこんなにいい数字は出てきてないのかな、と私は思っています。

それから、先ほど小林首席からのお話の中で成田空港のトラック受付業務のデジタル化ということですが、この事業者は貨物利用運送事業者ということで、実運送事業者ではないということですか。

(千葉運輸支局)

はい。

(池田委員)

輸出の方がこのデジタル化を進めているということで、成田空港の場合は、後でお話ししますが、問題は輸入貨物ですね。こちらの手待ち時間が非常に長いということが、直接事業者に聞いた範囲ではあると思いますので、その辺を実態として捉えていただきたいなと思います。

(千葉運輸支局)

ありがとうございます。アンケート調査ですけれども、運輸支局としても実際アンケートに書いてこないようなもっと中小の会社もあろうかというふうに考えていますので、この数字よりも全体の本来のリアルな数字というのはもうちょっと悪い可能性があるだろうというのは認識しております。ただ先ほど申し上げたとおり、この調査の目的自体が好事例を横展開するためのもの

ですので、この数字自体をこういう数字だったというふうに広げるというよりは、その中で抽出できた好事例を広めるということにしますので、その辺りは支障ないようにしたいと思います。

(池田会長)

よろしくをお願いします。

(柳瀬支局長)

他にご意見等ございませんでしょうか。運送事業者も荷主さんも各位対応していただいているところですが、この調査結果にもある通り、まだまだ改善が必要であるというふうになっておりますので、引き続き対応していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。続きまして、議題(2)「事務局の取組み」につきまして、事務局より千葉運輸支局、トラック協会、千葉労働局の順番でご説明をお願いいたします。

(事務局)

議題(2)「事務局の取組み」について資料3に沿って説明

(柳瀬支局長)

ご説明いただきました事務局の各種取組みにつきまして、ご意見があればご発言の方をよろしく願いいたします。

後ほど全体の質問時間も取っておりますので、もしございましたらその際にご質問を頂ければと思います。続きまして議題(3)「今後の協議会の進め方」につきまして、事務局よりご報告いたします。

(千葉運輸支局)

議題(3)「今後の協議会の進め方について」について資料4に沿って説明

(柳瀬支局長)

ただいまのご報告につきまして、ご意見等ございますでしょうか。続きまして「その他報告事項」に移ります。事務局より報告をお願いいたします。

(千葉運輸支局)

資料5「周知事項」について説明

(柳瀬支局長)

ただいまの報告につきまして、ご意見等があればご発言をお願いいたします。

それでは議題が一通り終わりましたので、全体を通じてのご意見がございましたらお願いできればと思いますが、どうでしょうか。

(飯田様)

千葉県商工会議所連合会事務局でございます。私の方からは質問ではありません。国、県へのお願いというか、要望を二点ほどさせていただきたいと思います。今日の会議を聞いていまして思ったことが二つありまして、まず荷待ち時間の短縮でございますけれども、これについては、国、県によるIT活用の支援の拡充を是非お願いしたいと思います。今日説明の中でITの他に配送の共同化等々のお話もございましたが、やはり荷待ち時間の短縮にはトラック運送事業者そして荷主双方のIT活用が大変効果的で必要なことかと思えます。国には、事業者がさらにそのITを導入しやすいように支援の拡充を是非お願いしたいと思います。それがまず一点です。

もう一点が運賃の引き上げへの支援についてでございます。今日もアンケートのお話の中で、割増賃金率の引き上げであるとか、そのための運賃引き上げのお話はございましたけれども、その他にも高速料金の上乗せであるとか、燃料費の高騰にかかるコスト、これらについてやはり立場の弱い運送業者へのしわ寄せが一番危惧されるところでございます。運賃の引き上げは課題解決の大きな焦点の一つでございますので、こうしたコスト増の価格転嫁、これが円滑に進むようにGメンの皆さん、そして県による荷主への働きかけをさらに強めていただきますよう要望させていただきたいと思います。以上、二点でございます。よろしくお願いいたします。

(柳瀬支局長)

ありがとうございました。それに対して事務局から何かございますでしょうか。

(堀越課長)

関東運輸局の堀越でございます。ご意見ありがとうございます。今のお話を踏まえまして本省の方にも要望として上げさせていただければというふうに思っております。ありがとうございました。

(飯田様)

よろしくお願いいたします。

(支局長)

他にご意見等はございませんでしょうか。

(臼井委員)

本日はありがとうございました。住友化学の臼井と申します。今回こういう場に初めて出させていただきまして、荷主側としてトラック運送業界の改めて色々な問題点について認識させていただいたところです。

私の方からは、弊社の方で今やっている取組みの中で、もう少し展開してもいいのかなと思うものについて一点ご紹介したいのですが、先ほども池田会長の方から、色々なアンケートを取られたけれども、非常にそれはごく限定的なアンケートであるというようなことをお聞きしましたけれども、弊社の方でも我々の事業を手伝っていただいている協力会社さんがおられまして、その業者さんとの真のパートナーシップという意味で、色々な取組みをやろうとしている中で、我々荷主や元請け事業者と話していても多分生の意見が出てこないと思うので、第三者の方に入って

いただいて色々な意見を伺っていただいた。そこで出てきた案件についてはやはり我々の方でもきちっと対応していこうというふうに今色々考えているところです。そういうことで、先ほどもあったように全ての事業者さんからアンケートが出てくれば一番いいのですが、やはりアンケートを出し切れていないようなトラック事業者さんからの意見の吸い上げというのも、今後は非積極的になんらかの方法でやっていただけると、このトラック業界を押し上げていくうえで非常にいい試みになるのかなと思いますので、ご参考までにご紹介させていただきました。ご検討の程よろしくをお願いします。

(柳瀬支局長)

ありがとうございます。引き続き荷主事業者様においてもご協力の方をお願いできればと思います。他にございませんでしょうか。

それでは以上で予定されていましたが全て終了しました。本日は円滑な議事進行にご協力いただきまして大変ありがとうございました。それでは、進行を事務局の方にお返ししたいと思います。よろしくをお願いします。

(事務局)

それでは協議会の閉会に当たりまして、千葉県トラック協会池田会長より一言ご挨拶をお願いしたいと思います。会長、よろしくお願ひいたします。

(池田委員)

今日ご参加いただきました委員の皆様、大変今日はありがとうございます。4月からの問題について、少しずつながら前進して来ているのかな、というような感じはしております。

先ほど、成田空港の航空貨物のお話をちょっとさせていただきました。協会として直接携わっている事業者の方にヒアリングをして、Gメンの方にも参加していただいたわけです。その後に先週、いわゆるトラック議連という県議会議員の先生たちが作っていただいている議連があるのですが、その会長の方から千葉県とそしてNAAさんですね。成田国際空港株式会社。こちらの方にお話を早速していただいて、トラック協会とNAAさん、千葉県とお話をする機会を作っていただいたわけです。その中で、航空貨物の取り扱いというのは非常に複雑でありまして、フォーダーさん、それから上屋さん、なおかつ我々実運送事業者、そしてNAAさんとか色々あります。成田空港開港以来40数年経っておりますが、形の上では貨物の動きはあまり変わっていないというのが現状で、確かに先程の説明がありました輸出貨物についてはITを活用した取組みが実際になされて好評を得ているということなのですが、問題は輸入貨物で、相当長い手待ち時間が発生しているということが実態でございます。これについては、当然我々事業者だけが声を上げてもなかなか解決できる問題ではありませんので、運輸局そして労働局の皆さんにも入っていただいて協議会というものを設立させていただいて、進めていきたいなと思っております。航空貨物はどこの空港でもあるわけですが、とりわけ成田空港の扱う荷というのは際だって多いと思います。そんなことでどうしても千葉県の一つの大きな特徴なのかなと思っておりますので、このまま何も変わらないでやっていった場合に、当然4月以降も時間外労働が発生いたしますし、我々事業者がこの時間外労働規制を実際に守っていこうとすれば、航空貨物はもう

運べませんよという事業者が多数増えてくるのかなと思っております。

ご承知のように、成田空港が今機能拡充ということで、第3滑走路の新設を含めて空港の広さが2倍ぐらい、航空貨物量についても今の1.5倍、そのようなバラ色の構想を描いておりますけども、まずは輸入貨物の適正な扱いといいますか、システムを構築しなければ、それこそ航空貨物を取り扱う事業者が無くなっていくのかなと思っています。協議会を立ち上げた際には、運輸支局、それから労働局の皆様にもぜひご参加いただいております。お力を頂きたいと思っております。

昨日、我々のトラック事業者の組合の一つでありますけども、新年会に参加して参りました。その新年会に、八千代市の地元ということもあるのですが、前国交副大臣の豊田先生も参加していただいて、豊田先生にもそういう話をさせていただいております。国交省としてもぜひ力になるからやってください、というような言葉をおっしゃっていました。

ある事業者からは、トラックGメンの方に頑張ってくださいのはいいのだけでも、かなりの協力会社があって、そこから出た意見というのであれば、どこの事業者がトラックGメンの方に通知したということが分かりにくいのですが、この協力会社が一社とか二社とか、そんな程度のところも中にはあるわけですね。そうしますと、どこが言ったというのがすぐ分かってしまう。そうすると荷主さんから痛い目に合わせられる。だから、従ってGメンにもなかなか通知できませんよ、というようなことを言われていました。ですから、その方が言うには、これを守っていけないような荷主さんはもう経済産業省の方から操業停止と、それはなかなかできないと思いますが、そこまでやっていただかないと本当にこういう状況の中では改善基準告示を守っていけないのではないかなというような本音を聞いておりました。

とはいえ、この協議会はこれからもどんどん進めていただいて、とにかく我々の業界が一つでも二つでもより良い業界になるようにご協力お願いしまして、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。これにて本日の協議会は終了いたします。議事録につきましては、委員の皆様にご確認いただいた後に公表させていただく予定としております。なお、次回の開催日につきましては、今後の状況等踏まえつつ調整させていただく予定でおりますので、日程等につきましては追ってご連絡をさせていただきたいと思っております。皆様お忙しい中本日は誠にありがとうございました。

以上